

縄南中通信



平成27年 3月 2日 発行

2014年度 第11号

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

東大阪市立縄手南中学校

校長 日比野 功

教育活動の重点キーワード

「縄南道」の形成、「心・技・体」の研鑽

「縄南道」をしっかりと心に刻み、未来へ前進あるのみ！

3月になりました。3月は卒業式の季節です。学校行事において卒業式と入学式は特別な行事です。当該の3年生の先生はもとより、ご出席いただくご来賓の方々も予定を調整し、礼服に白のネクタイをして参列されます。また、本校ではさまざまな分野でご活躍の方もおられますので、その方々はそれぞれの分野の礼服に準ずる公式な服装でご出席されます。人生において公式的に礼服を着るという機会は2つあります。1つは結婚式で1つはお葬式です。お祝い事の際には礼服に白のネクタイを着用し、お悔やみ事の際には礼服に黒のネクタイを着用します。卒業式と入学式は礼服に白のネクタイを着用するという公式的な要素の大きい行事ですから、自分が目立つための自分勝手な儀式ではありません。先日の集会でも伝えましたが、卒業を迎える3年生は今年も多くの素晴らしい歴史を刻んでくれました。2年生、1年生は次に入学する現小学6年生とともに、3年生が刻んでくれた縄手南中学校の歴史をさらに品格の高い素晴らしいものへと積み上げて欲しいと願っています。縄手南中学校では「人格形成」ということを意識しながら「心・技・体の研鑽」のもと「縄南道」の形成に取り組んでいます。勝つときには必ず「勝因」があり、負けるときには必ず「敗因」がある。そして、「勝因」となる要素は、「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」であり、「敗因」となる要素は、「いい加減」「適当」「だいたい」であると伝えました。さらに、「勝因」の中でも時間のかかる要素と、誰でも今すぐにできる要素があり、今すぐにできることとして「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」をモットーとし日本一の学校を旨として日々鍛錬しています。このことは、縄手南中学校で学んだ生徒諸君が将来、大人になっても必ず役に立つことだと信じています。縄手南中学校では多くの専門家やプロの方々にご直接お話を聞く機会がありますが、縄手南中学校に来られたすべての方が、「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」には、「当たり前ですよ」と応援してくださっています。大人になっても、高いレベルに挑戦する際にも、何かを成功させるためには、「当たり前のことを当たり前に行う力」が身につけていることが夢を叶えるスタートであるということです。縄手南中学校では「人格形成」のもとそれを伝えようとしてきましたので、卒業を迎える3年生はこれからも縄手南中学校で学んだことをぜひ未来に持って行ってください。

「縄南道」ではもう1つ大切にしていることがあります。それは、自分がおかれている周りの方々、周りの環境、そしてそれらを取りまく「空気」を形成していただいている多くの要因に対する「感謝」です。このことは「縄南道集会」にお招きしたすべての方々からも学びました。物事を見える部分だけの意識の尺度だけではなく、見えていない部分に関しても意識を働かせ尺度を持たないといけないということです。例えばもうすぐ学校は卒業式を迎えます。先ほども伝えたように卒業式という行事は、学校にとっても1年間で最も大切にしなければならない行事です。縄手南中学校で義務教育を終えた3年生が新しいステージに羽ばたくことをお祝いする行事です。そのことが保護者の方々も、ご来賓の方々も、また地域の方々も世間一般でもわかっていただいているからこそ、

多くの方々が当日の時間の都合を合わせ、仕事の調整もし、そして当日だけでなく卒業生の門出を祝うにふさわしい環境をつくって下さっています。当然、縄手南中学校の先生たちもそうです。そのことを「縄南道」のもと意識するならば、主役である3年生、そして主役に花を添える在校生代表の生徒たちがやらなければならないことは、当たり前のことを当たり前前に立派にやりきることです。送り出す縄手南中学校の先生たちは卒業生の凛とした立派な態度に感動を受けます。そして涙も流されます。ご来賓いただける方々も同じ思いです。決していい加減な様子を見させられるために都合を合わせて来られるではありません。縄手南中学校で「縄南道」を学んでいる生徒たちは「人格形成」のもと、「当たり前のことを当たり前前に実行する」ことの大切さが身につけていると信じています。

2020年には東京オリンピックが開催されます。君たちはこれからグローバルな世界に出ます。コンピューターが開発され急激に世の中が変化し、これからの時代はロボットも進化し続ける時代となる中、コンピューターやロボットよりも君たちが絶対に誇れることは、美しいものを美しいと感じ、素晴らしいものを素晴らしいと感じる人の持つ「感性」です。「縄南道」がこだわっていることは「意識改革」、そして「意識改革」から生まれる「行動の改革」、さらに「行動の改革」から生まれる「習慣の改革」、そして「習慣の改革」が成された時に「結果」が生まれるということです。「高い意識」を持つ集団には必ず結果を生み出す「空気」が存在しますから、これからもぜひ「感性」を磨いてこの「空気」を感じとって欲しいと思っています。それが優れたロボットにも勝ることかも知れません。たかが「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」、されど「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」ですから、卒業する3年生は縄手南中学校で学んだ「縄南道」を大切にしてください。そして縄手南中学校は在校生とともに、地域と一体となってこれからも日本一をめざし進化しますのでこれからも応援よろしくをお願いします。

綺麗に整備されたグラウンドへの思いを大切にしてください。

2月中旬からグラウンド整備工事がありました。期間中は体育授業やクラブ活動等にはいろいろと調整してもらいましたが、今回のような整備工事をやっていただけるのは本当に有難いことです。整備前はグラウンドの水はけも悪くなっていて、少し雨が降ると特にグラウンド西側は池のような状態にもなっていました。また、これまでの使用から表面も固く凹凸状態になっていましたが、今回、プロの方の整備工事のおかげで綺麗な状態となりました。聞くところによると、そもそもグラウンドには傾斜がつくられていて、降った雨水はグラウンド東端と西端の溝に流れるようになっています。縄手南中学校の場合は3分の2程度は西側に傾斜が作られているようですが、雨が降ると防球ネットの水が下にしたり、そこに雑草が生え、傾斜に伴って流れた雨水とともに土も一緒に流れるので、雑草が生えたままになっていると周りに土が盛り上がり溜り池のような状態になっていくとのこと。確かに雑草が生えて草むしりをするのは大変ですが、こんなメカニズムがわかると、授業やクラブ活動等で使っている自分たちのグラウンドを自分たちがよい環境で使うことを望むなら、その前にやるべきことがあるのではないかと考えさせられました。工事業者の方が作業をしておられるのを生徒たちは見ていたと思いますが、「こんなふうにグラウンド整備をするんだな」とか、「さすがにすごいな」とか、いろんなことを思いながら眺めていたのではないのでしょうか。グラウンドが綺麗に整備されたこの感動を大切に、道具や場所、施設や設備、それを準備していただいている環境に対して感謝の気持ちを忘れないでください。また使用する者は、それらを丁寧に使い、一生懸命にひたむきに活動すべきであると、今回のグラウンド整備工事からも学びました。

クラブ等の主な記録

陸上 第61回枚岡公園クロスカントリー 中学男子2・3年(3km) 第3位 北西海人(2年)13'04"
愛ガード10周年作文コンクール 優秀作品 永田優月(2年)